

国際物流戦略チーム「今後の取組」 検討ワーキンググループの設置について

1. 経緯・目的

国際物流戦略チームは 2005 年に全国に先駆けて産学官の連携の下に設置され、その後の 12 年間の活動の中で、「大阪湾諸港の一開港化」の実現等の成果を上げてきた。

近年、国際物流を取り巻く環境は大きくかつ急速に変化してきており、今年度改定時期を迎える国際物流戦略チームの取組の方向性を示す「今後の取組」については、物流を取り巻く環境の変化に対応し、これまでの取組内容に加え、中長期の取組を作成する予定。

大阪湾周辺に国際戦略港湾や 3 空港が位置し、道路ネットワークも発達しつつある関西独自の状況を踏まえつつ、物流分野の発展のための取組を支援する必要があると考えており、その具体の取組を検討する場として『「今後の取組」検討ワーキンググループ』を設置することとしたい。

2. 構成員

各分野における有識者等からメンバーを構成

3. スケジュール（案）

「今後の取組」検討ワーキンググループを含めた国際物流戦略チームの活動スケジュールは以下のとおりとする。

平成 30 年度

4 月～9 月 ワーキンググループ開催

（検討項目の選定、課題解決策の議論、施策・方向性のとりまとめ等）

9 月～10 月頃 国際物流戦略チーム第 29 回幹事会（とりまとめ案を審議）

10 月～3 月 幹事会の指摘事項を踏まえ、本部会合における審議又は報告戦略チーム「今後の取組（改定版）」への反映

以上